

基礎・応用期カリキュラム

必修科目

教職教養、論文対策、面接対策は関連科目であり、効率的に学習していくにはスケジュール立てが肝心です。例えば、科目の学習順や論文・面接対策を始めるタイミング、InputとOutputのバランスや時期に合わせたその比重など。TACでは、すべてが有機的に結びつき学習効果が最大化するよう、年間を通じて綿密にカリキュラムを組んでいます。

分野	2022年	2023年			
		秋	冬	春	夏
教職教養 ▶		教職教養 基本講義 全26回			本試験
		教職教養 演習 全12回			
		教職教養 〈人物編〉 全3回			
論文対策 ▶		論文対策 講義 全4回		論文 模範解説 全4回	本試験
		執筆練習 添削無制限			
面接対策 ▶			面接対策 講義 全6回		本試験
			実践練習 (マンツーマン指導・グループ指導) 練習無制限		
				面接 模範解説 全6回	

教職教養

▶ 基本講義 26回 (2.5時間 / 1回) ※教育時事は1.5時間 / 1回です。

教育原理 〈基本講義〉	教育史 〈基本講義〉	教育法規 〈基本講義〉
講義 8回	講義 2回	講義 8回
教育心理 〈基本講義〉	教育時事 〈基本講義〉	
講義 6回	講義 2回	

筆記と人物のハイブリッド講義

教職教養は筆記試験対策だけを目的とするのではなく、各テーマがどのように人物試験に関連しているのか、現場ではどのように活用されているのかを提示し、理解中心型学習を進めていきます。論文対策や面接対策に応用できる「使える現場ネタ」がふんだんに盛り込まれているので必見です。

● 配付教材

テキスト 6冊 + 教育史年表 1冊

教育原理 / 教育史 / 教育法規 / 教育心理 / 教育時事 (2冊)



トレーニング 4冊 教育原理 / 教育史 / 教育法規 / 教育心理



▶ 演習 12回 (2.5時間 / 1回) ※成績判定はありません。

教育原理 〈演習〉	教育史 〈演習〉	教育法規 〈演習〉	教育心理 〈演習〉
講義 4回	講義 1回	講義 4回	講義 3回

予想問題演習の全問解説

本試験予想問題を使って科目ごとの問題演習を行います。解説講義では、解法テクニックや解答のポイントとなる知識を確認し、知識を着実に得点力に変えていきます。また独学では目の届きにくい周辺知識まで丁寧におさえ、知識の補強を図ります。

● 配付教材

演習 4冊

教育原理 / 教育史 / 教育法規 / 教育心理



解説レジュメ 12回分★



★Webで視聴する場合は、TAC WEB SCHOOL マイページ「講義録PDF」よりWeb閲覧してください。

PLUS 講義 13回 (1.5時間 / 1回) 人物試験対策がさらに充実！

教職教養 〈人物編〉 講義 3回	教員としての 素養を高める	教職教養は教員としての基礎的素養です。教職教養の知識が人物試験にどのようにつながっていくのか、教育現場ではどのように活用できるのか、具体例を示しながら解説します。
論文 模範解説 講義 4回	講師の答案執筆例 から学ぶ	優れた文章には読み手を惹きつける様々な技法が詰まっています。講義内で示される模範的な文例や答案をヒントにして自身の論文の質を高めます。
面接 模範解説 講義 6回	講師の回答作成例 から学ぶ	回答作成の際のプロセスやキーワード・望ましい回答の方向性を具体的に解説します。模範的な回答を参考にすることで回答作成のコツをつかみます。

PLUS 「PLUS 講義」は必要？

こんな方におすすめ！ ▶ 論文や面接の回答が浮かばない方 ▶ 回答が浮かんでも、適切に文章化・言語化できない方 ▶ 論文や面接の評価がなかなか上がらない方	PLUS 受講者の声 ※各種本科生を対象としたコンテンツ調査アンケートより抜粋。 人物対策向けの教職教養のポイントがわかりやすくなりました。 面接を意識した内容であると同時に、これから勤務する際にも十分に参考となる内容でした。 自己分析や回答づくりが行き詰まった際に、良い回答に導き合わせてくれました。 お手本となる執筆例があり、方向性を決めるのに役立ちました。 論文を書く具体的な手順や方法がよく分かりました。 自分の答えと比べたり、面接の答え方が分からないときなどに役立ちました。
--	---

論文対策

▶ 講義 4回 (2.5時間 / 1回)

論文対策
講義 4回

TOPIC
☐ 論文対策の進め方と評価観点
☐ 教師適性と表現力の高め方
☐ 論理性の高め方
☐ 実践力・指導力の高め方 (学習指導)
☐ 実践力・指導力の高め方 (生徒指導)

● 配付教材
テキスト 1冊
(答案用紙 10枚付)

執筆テクニックをレクチャー
執筆テクニックとは、出題テーマへの構想を練り、文章構造を決め、時間配分を管理しながら執筆する技術を指します。講義では、出題者の意図に沿った論文を書くための知識と、教師適性の高さをアピールする技術を、戦略的に手順を踏みながら養成していきます。

Image of the textbook and answer sheets.

▶ 実践 無制限 ※本科生は、規定されたルールのもと、設定された日程の枠内で期間中何度でもご利用いただけます。 ※実施期間・設定日数は校舎により異なります。 ★オンラインで実施する内容は、個人面接・集団討論・論文・面接お悩み相談に限りです (論文添削 Express、集団面接、模擬授業はオンラインでの実施はありません)。

本科生限定
校長や教育委員会の経験者を含む講師陣がマンツーマン指導グループ指導
2022年11月よりスタート
日程・利用方法はTAC WEB SCHOOL マイページにてご案内します。(2022年10月頃)

Image of a lecturer and student in a discussion.

論文添削 完成論文ができるまで何度でも
本試験では複数の採点者が様々な観点で評価をするため、誰が見ても一定の評価を得る論文を書くことが重要です。そのためには安定した評価を得るまで練習を繰り返すしかありません。通学生は各校受付で、通信生は郵送で論文答案を提出できますので、気軽にまた積極的に取り組むことができます。 ※論文テキストおよび県別テキスト収録の添削課題に限りです。

論文添削 Express (マンツーマン指導 30分 / 1回) 持ち込み論文をその場で個別指導
ご自身で執筆された論文を校舎にお持ちいただき、講師がその場で採点、添削、講評をさせていただき個別指導サービスです。あなたと講師、双方向型の指導となりますので、執筆内容だけでなく執筆に至ったプロセスから掘り下げ、根底から執筆力を高めます。

面接対策

▶ 講義 6回 (2.5時間 / 1回)

面接対策
講義 6回

TOPIC
☐ 面接の形態と評価観点
☐ 個人面接対策
☐ 場面指導対策
☐ 集団面接・討論対策
☐ 単元指導計画・授業案対策
☐ 模擬授業対策

● 配付教材
テキスト 1冊

面接ノウハウを形態別にレクチャー
最重要ともいえる面接対策は、合計18時間の徹底講義。面接のマナーやプロセスといった基礎知識から、評価のポイントや適切なアピール方法まで丁寧に指導します。頻出質問事項については、回答をその場で考える機会を設けながら、注意事項や望ましい回答の方向性などを具体的に解説していきます。

Image of the textbook.

▶ 実践 無制限 ※本科生は、規定されたルールのもと、設定された日程の枠内で期間中何度でもご利用いただけます。 ※実施期間・設定日数は校舎により異なります。 ★オンラインで実施する内容は、個人面接・集団討論・論文・面接お悩み相談に限りです (論文添削 Express、集団面接、模擬授業はオンラインでの実施はありません)。

個人面接 実践 (マンツーマン指導 30分 / 1回) 1対1のロールプレイング
個人面接で問われる質問内容ごとに〈一般編〉〈教育編〉〈場面指導〉の3種類の練習をご用意しています。選んだ面接の種類によって質問内容が変わりますので、学習の進捗に合わせてポイントを絞った練習が可能です。

種類
一般編 主に面接の序盤で求められる自己PR、経歴や経験に関する質問
教育編 教育に関する知識を確認する質問や教育論・教師論に関する質問
場面指導 特定の場面が示され、教員としてどのような対応をとるかを説明する質問
リハースル 本番を想定した、ひと通りの質問 (一般編・教育編・場面指導)

Image of a student and lecturer in a role-play.

模擬授業 実践 (マンツーマン指導 30分 / 1回) 本試験形式で練習する
教師らしい所作・児童・生徒にあわせた話し方など、基本的な授業力は必須の能力です。まずは皆さんに実際に授業をしていただき、声・姿勢・口調・視線・挙動・板書・展開など、本試験で評価される観点に基づいて講師が改善案を提示します。

集団面接・討論 実践 (グループ指導 70分 / 1回) 集団での発言・対話の流れを確認する
集団面接・討論では、複数の受験生が同時に評価されるため、個人面接とは違った対策が必要です。グループ指導では、練習を通じて集団面接特有の注意点を理解するとともに、独特の雰囲気にも慣れていただきます。また実施後は総評に加え、個別評価をフィードバック。グループとしての注意点だけでなく、個人レベルでも改善点を明確にします。